



No.25

2月定例会  
平成28年5月15日  
埼玉県久喜市議会

# 市議会だより

号砲! 第1回よろこびのまち久喜マラソン大会  
3月13日



3月13日  
久喜マラソン  
3月13日

平成28年度 注目事業を

# クローズアップ

- ◆平成28年度市政運営 会派代表が問う ..... (2)~(3)
- ◆2月定例会ピックアップ  
久喜総合病院は今後も地域医療の中核病院として存続へ 他 ... (4)~(5)
- ◆久喜市のここが聞きたい! 一般質問 ..... (6)~(7)
- ◆久喜市のここが聞きたい! 一般質問 ..... (11)~(20)
- ◆常任委員会活動レポート ..... (22)~(23)



# 平成28年度 注目事業を クローズアップ

2月定例会が、2月16日から3月18日の32日間の会期で開催されました。  
平成28年度注目される事業の一部を紹介いたします。

## 病児保育委託事業

病児 病院  
Children's Hospital

1090万5000円

土屋小児科内で病児保育室「つりーはうす」を実施し、保護者の仕事と育児の両立を支援します。

## 市民一人あたりの 予算の使い道

合計 30万3541円



### 議会費

市議会の活動経費  
2,310円

### 土木費

道路、河川、公園、住宅の管理や整備などの経費  
33,862円

### 総務費

全般的な管理業務、徴税、戸籍、選挙活動などの経費  
34,100円

### 消防費

消防・防災活動、防災基盤の整備などの経費  
15,843円

### 民生費

高齢者・障害者福祉、子育て支援、生活保護などの経費  
122,913円

### 教育費

教育の充実や、文化・スポーツ振興などの経費  
28,767円

### 衛生費

保険・環境衛生、ごみ処理、し尿処理などの経費  
24,374円

### 公債費

長期借入金の返済金  
31,959円

### 農林水産業費

農林業の振興、生産基盤の整備などの経費  
4,578円

### 商工費

商工業及び観光の振興などの経費  
2,899円

その他  
1,936円

平成28年3月1日現在  
人口15万4424人

## 小中学校空調設備整備事業

1億5556万2000円

市内の小学校・中学校にエアコンを整備します。

## (仮称) 菖蒲運動公園整備事業

1億8650万円

メイングラウンドの造成・整備を行います。

### 防犯灯LED化事業



1058万4000円

市内に設置されている全ての防犯灯のLED化を行います。

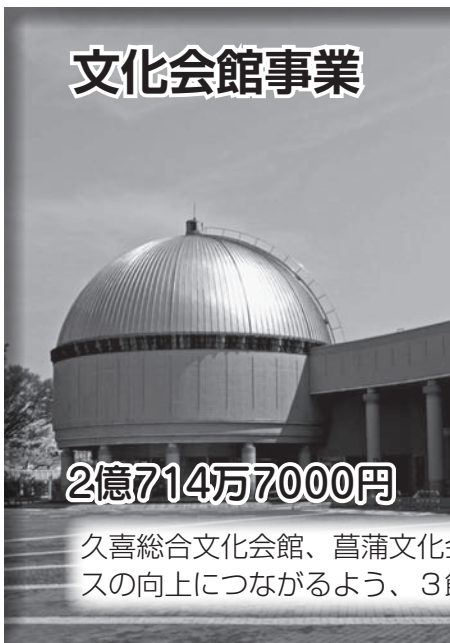
### 不妊治療費助成事業



1050万円

不妊治療に要する費用の一部を助成します。

### 文化会館事業



2億714万7000円

久喜総合文化会館、菖蒲文化会館（アミーゴ）、栗橋文化会館（イリス）を各館の利用率やサービスの向上につながるよう、3館連携管理運営します。

### イリス



### アミーゴ



### 久喜マラソン大会事業



975万円

「第2回よこびのまち久喜マラソン大会」を開催します。

### 道路レスキュー事業



884万9000円

市民から道路に関する不具合について通報を受けた際に、速やかに現場に駆けつけ、その場で作業を行います。



## 平成28年度の市政運営

# 会派代表が問う

## ～ 代表質問 ～

15万市民の  
幸せのため、  
さらなる市の発展を



新政久喜

柿沼 繁男 議員

- 問 新たな街づくりのビジョンは。
- 答 充実した道路網や鉄道網、歴史や伝統豊かな自然環境などの資源を生かしながら、県東北部の拠点都市として確固たる地位を築き、その役割機能を目指してまいります。
- 問 圏央道開通に伴う企業誘致は。
- 答 埼玉県と連携し新たな産業基盤の整備を行い、交通要衝という強みを生かして優良企業の誘致に努める。
- 問 菖蒲パーキングエリアの有効活用を。
- 答 市内産の農作物、物産を販売することは本市のPRに寄与するものと考えてので、JA、商工会などと連携して、さらなる活用方法を検討してまいります。
- 問 本市の防災対策をどのように推進していくのか。
- 答 各種災害に備え、防災資機材などの整備の充実を進め防災体制の充実をはかる。
- 問 道路レスキューを要請するための連絡体制は。
- 答 市役所または総合支所に連絡をしていただければ、道路レスキュー係が箇所や状況をお伺いし、速やかに現場に駆けつける。

久喜市の転換期を  
女性の視点で  
まちづくり



公明党久喜市議団

矢崎 康 議員

- 問 理科大跡地は、文化田園都市の中心となるような、情報発信基地拠点としての教育センター機能を持たせた施設にすべきと考える。中心拠点として生かすことが大事である。市長の見解を。
- 答 東京理科大学の跡地は、さまざまな活用方法が考えられる。庁内の検討組織を設置し、施設の活用方法について検討を開始した。具体的な活用方法の検討はこれから。今後の活用方法の検討に当たり、教育分野の充実という視点は欠かせない。教育センター機能については、今後の検討の中で参考にさせていただきたい。
- 問 平成20年3月に提携された「久喜総合病院の整備及び運営等に関する協定書」の中の診療体制においては、周産期医療<sup>\*</sup>も地域の医療事情に十分考慮し、関係機関と協議して対応していくとされていた。所期の目的でもあった周産期医療や生涯を通じた包括的な女性の健康を支援するための女性専門外来、性差を考慮した性差医療、女性特有のがん対策等の充実<sup>きよしゆ</sup>に対しても「巨樹の会」に働きかけを。
- 答 現在JA埼玉県厚生連久喜総合病院には、婦人科や乳腺外科、形成外科が標榜されているが、今後も女性が安心して医療が受けられる医療体制の整備が図られるよう、譲渡予定先の法人に対し要望していく。



### ※周産期医療

…「周産期」とは、妊娠22週から生後満7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、突発的な緊急事態に備えて総合的な体制が必要で、特に「周産期医療」と表現されています。

田中市長から4つのリーディングプロジェクトテーマ  
 (①安心・安全なまちづくり、②子どもや高齢者等にやさしいまちづくり、③快適で活力のあるまちづくり、④市民から信頼されるまちづくり)の市政運営と7大綱に基づく予算編成の基本方針が述べられました。

これを受けて、2月28日(日)の日曜議会において会派代表質問が行われ、平成28年度の市政運営と予算編成についてそれぞれの会派の代表から鋭い質問が出されました。



平成28年度市政運営並びに  
 予算編成の基本方針について  
 演説する田中市長

## 市民の暮らしを支える思いから 13項目を問う



日本共産党久喜市議団

平間 益美 議員

**問** 国民には増税、企業には減税、アベノミクスから市民生活を守る政策が求められているが。

**答** 法人税減税は経済の好循環としての効果が出てくると期待。経済は着実にデフレからの脱却に向け前進していると認識している。

**問** 総合病院の譲渡に当たって、現在の医師や看護師職員の確保を要請すべき。

**答** 現在の医師、看護師、スタッフの確保が重要である。譲渡予定先の法人に医療体制の充実を要望していく。

**問** 東京理科大施設利活用は、市民中心の検討委員会を立ち上げ検討すべき。

**答** 組織を設置した。市民の皆さんからアイデアを募集中である。

**問** マイナンバー制度は凍結し、廃止すべき。

**答** 公平かつ公正な社会実現の制度である。凍結、廃止の判断はしない。

**問** 基金、繰越金を活用し国保税の引き下げを。

**答** 保険給付費は年々増加。制度を継続的安定的に運営していくことが必要。考えていない。

**問** 介護保険料の引き下げを行うべき。

**答** 財源は国県市の公費で構成されている。規定に基づき負担すべきと考えている。

**問** 憲法改正に反対の声を上げるべき。

**答** 現憲法の平和主義の理念はいかなる状況でも堅持し続けなければならないと考えている。

## 地球環境と 自然生態系を守り、 循環型社会への一歩を



市民の政治を進める会

猪股 和雄 議員

**問** 久喜市内の暮らしや経済活動の中での温室効果ガス削減を進めるために、環境基本計画の見直しに合わせて区域施策編の策定を求める。

**答** 環境基本計画の見直しの中で検討していく。産業部門や家庭部門なども、別の温室効果ガス排出量の将来推計や削減量をわかりやすく示し、より実効性のある計画にしたい。

**問** コウノトリとトキの舞うまちづくりをどう進めるか。新年度予算額1万円では実際には事業が進められないのではないのか。

**答** ふゆみず田んぼ\*の取り組みを行うために、渡良瀬遊水池エコロジカルネットワーク推進協議会との連携を図っていく。水の取り入れや減農薬・減化学肥料の取り組みなどが必要であり、農業者の理解や協力も得ていきたい。

**問** 新たなごみ処理基本計画を検討しているが、これまでの生ごみ全量堆肥化、できるだけ燃やさないという考え方を変更するのか。

**答** 新たなごみ処理施設建設へ向けて、堆肥化だけでなくその他の方策も含め、より効率的な減量化・資源化の方策を検討していきたい。

**その他の質問** ◇久喜市の人口ビジョン、総合戦略の基本は。◇久喜総合病院の売却・経営譲渡によって、安心してかかれる病院にできるか。◇個人番号制度の根本的問題点。◇女性の管理職登用目標を示すべき、など。



### ※ふゆみず田んぼ

…一般的な米づくりの方法は、稲刈りが終わった後の田んぼには翌年の田植えの直前まで水を入れず、できるだけ乾かしますが「ふゆみず田んぼ」は、冬の間も田んぼに水をはる米づくりの方法です。



# 久喜総合病院は、『新久喜総合病院』として 今後も地域医療の中核病院として存続へ

## 議案 第51号 久喜総合病院の事業譲渡に係る和解及び権利の放棄について

久喜市は、久喜総合病院に関する全ての事業を巨樹の会に譲渡することを承諾しました。JA埼玉県厚生連は、和解金3億7千万円を久喜市に支払い、事業譲渡に関して補助金問題を含め、一切の問題が解決されたことを確認します。また巨樹の会は、少なくとも10年間は病院の運営を継続することになります。



### 討 論

**問** 久喜市が補助金交付目的に反していると判断し、補助金の返還を求めた経緯は。

**答** 開院後5年間で事業譲渡せざるを得ない状況に至り、譲渡先が市が求める公的医療機関ではないことから、交付目的に反していると判断した。一方、厚生連は、平成20年3月24日に締結した協定書に基づき、平成23年4月1日に総合病院を開院したこと、事業譲渡後も巨樹の会において、協定書に基づく病院運営が引き継がれることから、補助金の交付目的に反していないと主張された。

**問** 和解金3億7千万円の金額の積算根拠は。

**答** 市と厚生連双方の代理人弁護士を介した協議の結果、厚生連から提示された金額であり、積算根拠は特になし。

**問** 巨樹の会が、確認書第5条に基づき事業譲渡後10年間病院経営を継続する根拠は。また担保するものは。

**答** 事業譲渡後の運営期間は、市債の償還期間を勘案し、償還期間以上の「事業譲渡の実行日から少なくとも10年間」となった。担保としては、確認書第5条第2項の規定により「10年を経過しないで、義務に違反して譲渡等を行った場合」には違約金として、その時点での市債の未償還残高に相当する額を支払うことを確約している。

**【反対】** 5年前の病院誘致自体の問題や補助金交付条件などへの反省もなく、昨年4月の事業譲渡の申し入れ後も、議会に秘密裏に協議を進めた。新法人による将来への経営継続の保証もないのでは、市民の理解は得られない。（猪股議員）

**【賛成】** 合併前の市民意識調査のトップが総合病院の整備だ。市民要望で実現した病院を守り継続させることが、すでに入院・通院をしている市民の命と健康を守り、地域医療を守る事だ。1日も病院を止めない本議案に賛成する。（岡崎議員）

**【賛成】** 和解金や譲渡金額等の解明や厚生連への疑問や非難も重要であるが、最も重要なことは1日も停滞することなく久喜総合病院で医療が続けられること。譲渡後の地域医療を低下させないことが最も重要な要件である。（富澤議員）

**【賛成】** 総合病院和解金の根拠、久喜市の責任問題、市民へのお詫び、高度急性期医療の継続、議員への秘匿問題など指摘は多くあるが、市民にとって中核病院を廃墟にさせず医療を続けることが何としても重要と考え賛成とする。（渡辺議員）

**【賛成】** 近隣の上町、上早見の方々の意見を聞いた。厚生連から「巨樹の会」への事業譲渡について反対の人はいない。新しい病院をもう一度迎える思いでしっかり協議し、地域医療の中心病院になっていただくことを期待し賛成する。

（戸ヶ崎議員）

## 久喜市立中央、栗橋両幼稚園の保育料が一律定額8,000円から応能負担へ

**議案** 久喜市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例

**第49号** 子ども子育て支援新制度に伴い利用者負担については、世帯の所得の状況その他の事情を勘案し、国が定める基準を限度とし、市町村が定めるとされました。久喜市立幼稚園保育料等検討委員会での意見をふまえ、新制度における利用者

負担は所得に応じた応能負担とし、低所得世帯の負担を軽くし、所得のある世帯には応分の負担を頂くという考え方から、国が定めた基準額の階層区分と同様の5階層に区分することとなりました。

### 討論

**【反対】** 改正により一律8,000円であった保育料が、高い人では18,500円にもなる。全体で見ても1,000万円を超える金額が保護者負担増となることが明らかであり、子育て支援に逆行するものである。(平間議員)

**【賛成】** 国の子ども・子育て支援法の施行にいち早く対応され審議会による答申の決定は尊重されるべきもの。国の法定価格であるいわゆる保育料

は限度額よりも低い価格であり経過措置の負担の緩和もあり賛成。(矢崎議員)

**【賛成】** 市立幼稚園に特定教育・保育事業を適用し、所得階層に応じた保育料にするものであるが、階層区分をより細分化して中低所得層の保育料を低減して生活実態に配慮すべきである。新年度に見直しを進めるよう要望する。(猪股議員)

## 審査庁が行う裁決を第三者が審議し、客観性や公平性を高める

**議案** 久喜市行政不服審査会条例

**第32号** 審査庁が最終的に行う裁決の客観性、公平性を高めるため、審査庁から諮問を受け審理員が行った審理手続きの適正性や、法令解釈を含め

た審査庁の判断の妥当性について第三者の立場から審議をし、答申を行う「行政不服審査会」を設置する条例です。

### 討論

**【賛成】** 久喜市行政不服審査会を設置することにより、第三者による点検が行われることになり、市民に対する公正性と透明性がより一層向上する

ものとなる。市民の権利利益の救済に大きく寄与するものと考え、本条例案に賛成する。(丹野議員)

### カマチグループ、巨樹の会を視察！

平成28年4月1日より「JA厚生連久喜総合病院」を引き継ぎ、引き続き地域医療を担っていただけの「一般社団法人巨樹の会」を含むカマチグループを久喜市議会の代表メンバー8名で2月17日、18日に視察しました。



医療搬送ヘリ、ホワイトバード



新水巻病院

「福岡和白病院」「新武雄病院」「香椎丘リハビリテーション病院」「新行橋病院」「新水巻病院」の5か所を視察。グループの蒲池会長、巨樹の会の鶴崎理事長、またそれぞれの病院長に面会し、現状や久喜総合病院を今後どのように運営していくのかなど詳しく伺う事ができました。グループ全体がやる気のある活気に満ちた印象で安心してお任せできるという感想をもち、今後の地域医療は継続されるものと確認することができました。



# 議案の討論

## ○新年度予算に対する討論

### 議案 一般会計予算 第16号

【修正案反対】修正案には、条例改正が必要であるが条例提出がされていない。修正案を出すには、条例案とセットで出すべきである。「社会保障・税番号制度対応システム」を不必要とするのは、独善的で単なるパフォーマンスである。(齊藤議員)

【修正案反対】修正案に伴う、長期的な資金計画(財源)は存在しない事が質疑で確認された。財源の確約も無く「無料」「値下げ」など耳障りの良い言葉を並べた無責任な修正案。財政悪化の負担を背負わされるのは、将来の子供たち。(貞志議員)

【原案賛成】事業の選択と集中を図り、本市の将来を見据えた予算であると高く評価する。厳しい財政状況の中、受益と負担の明確化をはかり、今後も、社会情勢の変化、市民ニーズに応えた市政運営を期待し、賛成する。(宮崎議員)

【原案賛成】各種補助金の活用等で財源を確保し、指定管理者制度による経費削減、市債依存度の改善など、有効かつ効率的な予算編成と評価する。ふるさと納税の増加、債権管理条例に基づく収入未済額の減少への努力を要望する。(新井議員)

【原案賛成】28年度一般会計予算は、地方交付税の合併算定替で減額である。少子高齢化が急速に進む中で社会保障の重要性は増々高まり増加を続けていく一方で限られた財源を「選択と集中」での懸命な取り組みを評価する。(齊藤議員)

【原案賛成】子どもの貧困対策として、給付型奨学金の創設を急ぐべきで、労働ハンドブックの作成と高校での活用を進めるべきである。清久大池・西池の「自由釣場」及び、マイナンバーの慎重な取扱いを求めて賛成する。(川辺議員)

【原案賛成】予算編成過程の公開促進を。人口縮小社会へ向かって過大な出生率の目標を掲げるのではなく、高齢者も障害者も地域で暮らしていけるまちづくり、子どもの貧困対策、温室効果ガス削減への取り組みなどを要望する。(猪股議員)

### 議案 国民健康保険特別会計予算 第17号

【反対】久喜市の国保加入者の所得200万円以下の世帯が69.7%を占めるほど厳しい中、一般会計からの法定外繰り入は県平均の1/3にも届いていない。削減するのではなく、9億円を超える基金も活用し国保税の引き下げをすべき。(渡辺議員)

【賛成】医療費の適正化のため保険事業費を増やし、疾病予防・早期治療に取り組んでいる。また、歳入の不足分を基金と一般会計から補っているが、一般会計からの繰り入れを減らし、国民健康保険の安定的な運営に努めている。(平沢議員)

### 議案 介護保険特別会計予算 第18号

【反対】介護保険は、利用料の一部値上げ、特養ホームの入所制限、補足給付の削減が行われている。年金の引き下げや消費税増税の中、高齢者の暮らしを考え、調整交付金の減額分を補てんし、保険料は引き下げるべきである。(渡辺議員)

### 議案 後期高齢者医療特別会計予算 第19号

【賛成】高齢者だけで運営しているこの制度は、当初から問題がある。高齢化も進み前年度比6.4%増となった。しかし、平成28年度は、保険給付支払基金156億円の内90億円を使い一人当たり128円の引き下げは大変評価できる。(渡辺議員)

### 議案 下水道事業特別会計予算 第20号

【反対】下水道事業は、個人の利益よりも 環境面の整備で公共性の高い事業。ここを基本に据えるべき。地方公営企業への移行は、料金収入による企業会計になじまない。値上げが懸念される。必要な負担は市が責任をもつべき。(石田議員)

### 議案 水道事業会計予算 第24号

【反対】28年度予算は、建設改良費中期計画より約11億円増加で前倒し予算。現金預金約22億円、企業債残約28億円で毎年約3億円返済中。平成27年度純利益約8億円。市民の暮らし考え引き下げるべきだが検討されていない。(石田議員)

【賛成】平成28年度久喜市水道事業会計予算は、市民の皆さんの生活を支え続けるため、必要最低限の事業費が計上されている。今後も、健全運営に努め、施設の老朽化や災害対策をより推進させるよう強く要望する。(宮崎議員)

## ○その他議案の討論

### 議案 市長、副市長、教育長、議員の期末手当支給 月数割合の引き上げに関する条例の一部改正 第28号

【反対】議案は、議員の「期末手当の変更」。議員は市民の付託を受け活動し、自らの報酬を議決する立場である。市民の理解は重要。報酬等審議会で直接の意見はなく審議は不十分。市民の暮らしも大変な中理解は得られない。(石田議員)

【反対】議員の期末手当を市職員の勤勉手当に合わせて引き上げるのはスジが通らない。議員報酬の年間総支給額の増額になるのだから、特別報酬等審議会の意見を聞くべきだが聞いていないのでは、市民の理解も得られない。(猪股議員)

### 議案 市長、副市長、教育長の給与、議員の報酬 の引き上げに関する条例の一部改正 第29号

【反対】報酬等審議会の答申は尊重すべきものと考え、議員としては、市民のくらしの実態に目を向けるべきだ。増税で実質収入が低下しているのに、こういう月額5万円もの引き上げは、理解されない。反対だ。(杉野議員)

【反対】非正規雇用が4割を超え、年収200万円以下で働く人たちが2000万人を超えている状況で、議員一人当たり月額5万円を引き上げることは、市民感情からも理解が得られるのか疑問であり反対する。(川辺議員)

【賛成】議員報酬は21年間据え置かれてきた。「報酬等審議会」の答申は、同規模自治体との比較を行い、議員の役割の増加と共に、定数削減を進言している。答申内容を尊重し、削減への取り組みを呼び掛けて賛成討論とする。(岸議員)

### 意見 国会における憲法議論の推進と国民的議論 の喚起を求める意見書 第1号

【反対】戦後70年間、現行憲法があったから日本は戦争をしなかった。意見書は憲法審査会に改正案作成を求めるが、審査会は多数決制であり、平和条

項の第9条を変える自民党案への改憲案を事実上、促すことになる。(杉野議員)

【反対】提案者の意図が、自民党の主張に則った憲法改正にあることは明白である。意見書の言う「家族・教育・環境、大規模災害や緊急事態」への対応には憲法改正は必要なく、提出先に内閣を加えるのも間違いである。(猪股議員)

【賛成】憲法論議は様々で、どの立場であるにせよ「この国のかたち」がどうあるべきかを考えるため、国会や国民の中での議論が活発となり、新しい時代にふさわしい憲法が発議される事を要望し、本意見書に賛成する。(春山議員)

【賛成】東日本大震災でも、憲法に規定される「自由権」への配慮から、「緊急政令」は発令されなかった。現在の法体系は緊急事態を想定していない。法体系の不備を解消するためにも憲法改正の議論は避けられない。(貞志議員)

### 意見 医師・看護師数を増やし、安心できる 地域医療の確保を求める意見書 第2号

【反対】本意見書の課題については賛同するものだが、本市の総合病院の事業譲渡を意見書に記すことは不相当であり、医師の偏在化も大きな要因である。内容を精査して、具体的な課題を明記して提出するべきである。(園部議員)

【賛成】久喜総合病院が譲渡される原因の一つは、医師・看護師不足である。高齢化が進む中、地域医療体制を充実させていくには担い手である、医師・看護師の増員・養成のため国は積極的な施策を講じるべきである。(平間議員)

【賛成】埼玉県医師不足は最も悪い状況で、地域による救急病院の設置と医師数の格差が生じている。全国的にも医師不足は深刻であり、医師・看護師の確保及び増員が何よりも必要であるところから意見書に賛成する。(川辺議員)











一般質問は、議員が本会議で行う質問のことで、市政全般にわたって事務の執行状況、将来に対する方針等について質問し、執行機関より報告・説明等を求めるものです。住民から重大な関心と期待を持たれている事を市政に問いかけ、議員自らが政策提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

質問する議員は、執行当局に質問要旨を事前通告します。本会議場での議員一人当たりの質問時間は35分間です。今議会は4日間行われ、質問した議員は19名です。

紙面の都合により、要約した原稿を質問した議員自ら作成し掲載しています。

久喜市議会の一般質問は、大変活発に行われています。

～皆さまの傍聴をお待ちしております～

## とねっとの参加医療機関を増やす目標設定を

### 答 平成29年度以降、目標値などを検討

平沢 健一郎 議員

新政久喜



問 久喜市内の所在医療機関数、「とねっと」\*参加施設数、参加率は。

答 本市における医療機関数は68施設。「とねっと」参加施設数は20施設、参加率29.4%。

問 久喜市内の参加機関数が増えない原因と課題は何か。

答 利根保健医療圏内の全ての医療機関にアンケート調査の結果、とねっとに参加しない理由は、①費用負担の懸念②診療内容等を入力する時間がない③パソコンの置く場所がない④医師の高齢化などによりコンピューター操作が不慣れ。参加医療機関が増えないことで、かかりつけ医カードの普及啓発が進まないこと、IT技術を活用した地域完結型医療が限定的になってしまうことが課題として挙げられている。

問 地域医療を守るために、「とねっと」を推進したい。菖蒲地区では参加医療機関が1医療機関だけであり、利用者は不便を感じる。それぞれの自治体では参加率が大幅に違い、加須は70%を超

えている。なぜ参加率が違うのか。

答 連携している医療機関が、「とねっと」の保険医療機関ではなく他の保健医療圏であることが多いことや診療所の患者で「とねっと」の参加者が少ないといった要素がある。

問 「とねっと」の参加医療機関の目標値が、106施設で、ほぼ目標値に達している。参加医療機関が少ないという久喜市の課題に対して次の目標値はあるのか。

答 現在は次の目標値は設定されていない。今後29年度以降の「とねっと」のあり方を検討していく上で、参加医療機関の目標値等を検討しなければならない。

その他の質問 ◇か 偏在する「とねっと」登録医療機関  
 ◇かかりつけ医制度の啓発 ◇在宅医療の普及啓発 ◇成年後見制度の相談体制、他



※とねっと

…埼玉利根保健医療圏内において、ITを活用し、診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムの愛称です。

## デマンド交通の値上げを予定しているのか

**答** 改定の考えは持っていない

平間 益美 議員

日本共産党久喜市議団



問 市役所や、病院などの施設利用で久喜地区の乗り入れの要望がアンケートでも多いが。

答 委員の中にも、乗り入れができるよう見直すべきとの声もあるが、民間事業者から路線の廃止や事業撤退の声も出ている。現状のままとする意見でまとまった。

問 公共交通会議の中で、一般利用者の料金値上げが議論されているが市長の考えを伺う。

答 久喜市でも65歳以上の高齢者が4万人を超えた。デマンドバスを利用しやすいように80歳以上半額にした。未来永劫上げないというわけにはいかないが、その時点で意見を伺いながら状況を見ながら判断をしていく。



久喜地区でも「くきまる」を

**給食費の補助を行うべきと考えるがいかがか**

問 お隣の幸手市では第二子は半額に、第三子は

無料にしている。久喜市で行った場合、給食費の減少額はいくらになるか。また、第二子、三子の数は何人か。

答 幸手市は申請があって合計835人の交付を受けているが、久喜市では学年簿に記載がなく人数が分からない。減少額もわからない。



葛蒲小でいただいた給食です

**主権者意識を育てる授業を中学校でも**

問 今年夏の参議院選挙で18歳選挙権が始まる久喜市の18歳・19歳の人数を伺う。

答 平成28年1月1日現在18歳は合計1382人、19歳が合計1496人。

問 中学校社会科の中で公開討論会や模擬投票の授業を行い、政治に対し考える取り組みは。

答 重要と認識している。授業の中で候補者となり政策を訴え、その後投票という学校はある。その他模擬投票を行っているのは6中学校ある。

## 土屋小児病院の二次救急輪番体制※は大丈夫か

**答** 医師不足により医師確保が喫緊の課題である

渡辺 昌代 議員

日本共産党久喜市議団



問 土屋小児病院は小児二次救急輪番医として久喜市の要を担っている。医師が数名やめられ対応が難しいと聞かすが、体制はどうなるのか。

答 小児科勤務医の負担増から、条件の良い病院へ移る偏在化が深刻な問題となっている。土屋小児病院においても、医師確保が喫緊の課題となり、県の医師派遣事業や輪番病院の参加募集を行った。その結果、1名の医師確保、羽生総合病院が輪番体制へ参加することになったと聞いている。



輪番体制が継続される土屋病院

問 平成28年度の小児二次救急輪番体制は。

答 詳細な輪番表は現在調整中である。

問 埼玉県へは医師確保、医師養成の要求を。国へは診療報酬の引き上げと消費税増税撤回の要望を出すべきと考えるが。

答 市長会として毎年2度、知事と国に要望しているが、国は新設医学部の許可を出さないのが基本の方針である。国の責任において医師の偏在を正していくべきと考える。

**要望** 埼玉県に医学部が必要であることを訴え努力をして欲しい。社会保障を支えるための消費税増税としながら、そのために逆に地域医療が崩れてはならないと考える。

**清久大池・西池は釣り場として継続すべき**

問 久喜市営釣り場は、なくさないで欲しいと多くの要望が出されている。管理釣り場として赤字になったのは、老朽化対策、釣れない事への予算投入と改善をしてこなかったからである。今後、市民の森・緑の公園と一体的な公園として、一般開放の釣り堀にすべきと考えるが。

答 釣り場としては、安全管理上の問題から考えていない。

**その他の質問** ◇介護予防の取り組みを充実すべき。◇県道12号線の歩道整備と安全対策を早急に。

**※小児二次救急輪番制** …埼玉県東部第一地区で栗橋済生会病院、土屋小児病院、羽生総合病院の3病院で協力し、年間を通じて小児二次救急患者を受け入れる制度のことです。





## 市役所の危機管理でこれからの防犯対策は

**答** 来庁者及び職員の安全確保を図って参りたい

斉藤 広子 議員

公明党久喜市議団

問 市役所で行われている防災訓練の他に緊急時を想定した対処方法を学ぶ等、防犯意識が高まる訓練を行うべき。

答 さすまた\*の実技訓練とか護身術訓練などの対処訓練をまず考えていく。

**市民参加の清掃活動で綺麗な街づくりを**

**答** 意識啓発が非常に大事である

問 「久喜市道路里親制度実施要綱」をもう少し気軽に市民の方が参加できるような要綱の見直しはできないか伺う。

答 要綱等も見直しながら拡大していきたい。

**老朽化が著しい青葉公民館についての展望は**

**答** 施設の適切な維持管理を行う事により対応

問 現在の青葉公民館は外壁が剥がれ落ち、危険箇所となっている。改修工事を行うより次の展望である地域交流センターと青葉公民館を複合して、青葉コミュニティセンターの建設を考えた方が良いと思うがいかがか。

答 必要性は認識しているが適切な維持管理を行

うことにより対応して参りたい。外壁部分については、今年度中に補修を実施する予定で準備を進めている。



青葉公民館の剥がれ落ちた壁にロープが張られている。

**健康ポイントで介護予防対策の導入は**

**答** 健康マイレージ事業として取り組んでいく

問 久喜市において様々な介護予防が行われているが、全て縦割り事業になっている。ポイント制度を導入し、喜びながら健康づくりを進められるよう庁内連携をつくり、市として取り組むべきものと思うがいかがか。

答 本年3月策定予定の久喜市総合戦略の2頁「健康で安全な暮らしの確保」の中に健康マイレージ事業としている。現在策定中の平成29年度からの第2次健康増進計画の中で、対象事業などについて検討を行って参りたい。

## 「教育のまち久喜市」発信～理科大跡地

**答** 教育分野の充実という視点で

春山 千明 議員

新政久喜

問 理科大跡地は教育という目的を持つ、久喜市の教育の核、拠点となる施設とし、さらには子供からお年寄りまでが集える複合的な施設として「教育のまち久喜市」を発信する心臓部となる施設としたらいかがか、伺う。

答 本市における教育分野の充実という視点は欠かせないものと考えている。



東京理科大久喜キャンパス

問 教育的施設として教育センター、中央公民館の機能を持った公民館施設、既存図書館を有効利用し、子ども図書館や久喜市ゆかりの人の文庫などの設置はいかがか。さらには子供からお年寄りまでが集える複合的な施設として児童センター、子育て支援センター、ふれあいセンター久喜西、高齢者の集いの場、発達障がい者支援センターの設置は考えられるか伺う。

答 ご提案いただいた教育の中核拠点についての教育センターを初め、公民館や図書館の機能を有した施設の設置については今後の検討において参考にさせていただく。また庁舎等検討会議及びその作業部会の中で提案いただいた福祉的施設としての活用もその中で検討をしていく。

**アミーゴの備品（パネル）を整備すべき**

**答** トレーニングセンターのパネルを共有

問 足りない分は壊れているパネルを修繕し、整備していくべきだがいかがか。

答 農業者トレーニングセンターの物をアミーゴに持ってくる。修繕が必要なものは予算の範囲の中で対応していく。

**その他の質問** ◇公民館、コミセンの利用区分は時間貸しに、また空き時間をなくし、公共施設予約サービスの利用時間を24時間とするべき。◇社会を担う未来の有権者に対する主権者教育と実践的な政治教育を教育委員会と選挙管理委員会とは取り組んでいくべきだがいかがか。

**※さすまた** …U字形の金具に2～3メートルの柄がついており、金具の部分で相手の首や腕などを壁や地面に押しつけて捕らえる補具です。刺又（さすまた）は、刺股とも書きます。



## 小規模企業振興条例として制定すべきだ

### 〔答〕 計画を前倒しし、28年度中に検討する

岡崎 克巳 議員

公明党久喜市議団



問 小規模事業者を取り巻く環境は厳しい。課題解決はスピード感を持って取り組むべきだ。条例制定スケジュールと審議会の構成は。条例は小規模企業振興条例として制定審議すべきだ。

答 小規模企業振興の方策を含む中小企業振興条例を早急に制定する必要がある。計画していたスケジュールを前倒しして、28年度中に検討を始める。条例検討委員会の委員の選定は学識経験者、公募による市民、商工団体代表者、金融機関の代表者などで構成し、総員は15名程度。条例は中小企業振興条例を検討する中で小規模事業者も支援できる条例を検討。



問 久喜市の独自性を持った小規模振興条例を策定すべきではないか。

答 今後、検討委員会でそれらについても、検討していただく。

県の在宅医療提供体制充実支援の連携・継続は市は引き継ぐのか。

〔答〕 2事業は継続。急変時の入院確保は今後の判断。

問 県では、平成27年度より在宅医療提供体制充実支援を3カ年行う。市との連携、支援の継続、市の引き継ぎは。

答 事業は南埼玉郡医師会に設置された拠点が担っている。市ではこの拠点に医療・介護関係機関のリストを提供。今後の推進会議の構成員として拠点に参加していただく。市では2つの事業は継続する。急変時の入院確保は県が継続すると説明を受けている。

問 急変時の入院確保は市も取り組むべきでは。

答 一時入院のベットの確保は、もし県が撤退するときは制度全体が動くか、動かないかの判断中で、久喜市が対応すべきと考えている。

〔その他の質問〕 ◇青パトの支援を◇公園にドッグランの設置を

## 川妻橋完成。塚田地区の交通安全対策を

### 〔答〕 継続して取り組んでいく

田中 勝 議員

無会派



問 川妻橋と市道菖蒲1号線の供用が始まる。これにより交通事情は大幅に変化。便利になる反面、危険性は一層高まり更なる対応が求められる。前回ご指摘申上げたグリーンベルト・減速表示・道路照明灯と防犯灯の設置・用水路のフェンスの改善等の安全対策については、ご配慮を賜りたい。従って、新たな課題を含めた対応策について、見解をお示し願う。

答 これまで埼玉県警察本部や久喜警察署と外側線やグリーンベルト、交差点標示等車両や歩行者の安全確保について、協議を重ねると共に橋梁の両側やカーブとなる部分、主要な交差点への道路照明灯設置等の、安全対策を検討して参った。県警本部との協議の中で、特に市道菖蒲2号線との交差点については、優先道路が現在の2号線から西堀・北中曽根線へと変更され、一時停止規制も変わり、新たに「止まれ」の標識が設置される。

問 新たな課題は、1号線と2号線の交差点の安全対策である。これにより、地元から信号機の設

置の要望\*が出されている。しかし、現時点では「設置されない」と言う。理由は「2号線の交通量が少ない」とのこと。しかし、当該箇所は優先道路が変更され、しかも通学路である。

また、2号線は、ご当地の主要道路である。地元のご意見を最優先で受入れるべきと考えるが。

答 信号機の設置要望をして参った。結果として優先道路が変わることになった。

ご質問の信号機については、毎年庁内で取りまとめ、担当のほうで要望しているので、継続して取り組んで参る。



優先道路が変わる交差点

※信号機の設置要望 ……地域の代表か区長から市へ要望→交通調査→久喜署・幸手署へ要望→県警察へ要望→公安委員会が決定します。要望は多いですが、市内で年一機ほどの設置状況です。





# 液状化被災に対する支援の申請期間延長を

## 答 液状化対策事業の進捗状況を見ながら対応

石田 利春 議員

日本共産党久喜市議団



問 液状化対策事業「地下水位低下工法」は地盤沈下が2年で7.5cm沈下する。地盤が落ちついた後に、手を打とうという方もいる。申請期間は平成29年3月から延長すべき。

答 液状化対策事業の進捗状況を見ながら必要に応じて検討していく。

### 公選法改正に伴い駅に共通投票所の設置を

問 市内の有権者、誰でも投票できる共通投票所の設置を各地区に設置し投票時間の延長を。

答 久喜駅周辺に設置する期日前投票所の投票時間を繰り下げたい。現在40箇所ある投票所を共通投票所にするのはセキュリティの確保の観点から難しいが、今後も検討していく。

### 栗橋地区にある「くりむ」の有効活用を

問 来館者の利用者数。児童遊戯室の利用数は。

答 平成26年度32,460人、その内遊戯室の利用は16,102人。

問 「くりむ」にはバーデプール<sup>\*</sup>があるが休止状態。子どもの利用が多い「児童館」としても位

置づけ有効活用をすべきでは。

答 多目的室スペースの広い部屋が必要。教諭を配置する必要があり考えていない。

問 基準にあった施設に変えることは無理か。

答 やらうと思えばできる。お金次第。

要望 児童館と福祉避難所として有効活用を。

### 障がい者に対する紙おむつ給付の改善を

問 給付対象者を小学生以上にしているが、3歳以上から給付するよう改善すべき。

答 県内の市町で給付対象年齢を3歳以上にしている自治体もあり、参考にして検討する。

### 公民館の夜間利用時間区分を分割すべき

問 分割することにより、安くて多くの方が利用できるようになる。時間区分を変更すべき。

答 当面現在の利用区分で。アンケートを継続。



「くりむ」玄関から入った広間で遊ぶ子どもたち

# 介護人材の確保のために市の独自施策を

## 答 小中学生時に介護の理解向上に努める

丹野 郁夫 議員

公明党久喜市議団



問 団塊の世代が75歳を迎える2025年には、大幅に介護人材が不足する。市民が安心して年齢を重ねていけるよう、市で独自に介護人材を確保すべき。小中学校の教育の現場において、介護に関することを学ぶことは有効では。

答 国や県の介護職確保プロジェクトが活用・促進されるよう、市も積極的に情報提供等の支援をしていく。小中学生の時期に福祉や介護の大切さを知り、職場体験等を通じて命の大切さや、介護を身近に感じることは大変重要である。キャリア教育の面からも、市の中学生社会体験チャレンジ事業の更なる充実に努めたい。

### 加須幸手線の歩行者用信号機の設置を求める

問 市道鷲宮1号線（鷲宮神社方面）から加須市川口方面に向かう交差点に歩行者用信号機の設置を求める。

答 近隣にスーパーがあり、道路の一部が通学路となっていることから、歩行者等の通行が多い交差点と認識している。地域の皆様のご意見を伺

い、交通量調査等の実施をしたうえで、久喜警察署を通じて埼玉県警察本部へ要望する。

### さいたま栗橋線に右折レーンの設置を求める

問 栗橋方面から鷲宮支所へ向かう、パチンコダイエー鷲宮店の交差点に右折レーンの設置を。

答 当該道路はスピードが出やすく危険な交差点と認識している。県に確認したところ、門樋橋の架け替え等も発生する等の課題があるため、当面の安全対策としてドライバーに注意を促す路面表示の施行をするとの回答有り。



今回の一般質問により県が設置した路面表示

その他の質問 ◇公共施設予約管理システムの公平性の向上を。◇YouTube「久喜市公式動画チャンネル」の充実を。

**※バーデプール** …健康増進のために、水中ウォーキングやマッサージを行うプールです。陸上運動に比べてひざや腰の負担が少なく、無理なく全身運動が行えます。



## 曇り止めタイプのカーブミラーにすべきだ

### 【答】重点政策であり設置基準のもと取り組む

戸ヶ崎 博 議員

公明党久喜市議団



問 曇り止めのカーブミラーの設置基準は。  
答 防曇タイプ\*、曇りづらいタイプの道路反射鏡（カーブミラー）の設置については市長の選挙公約でもある重点政策である。平成27年10月に防曇タイプの道路反射鏡の設置基準を定めた。新規設置及び老朽化による面交換の際は防曇タイプのものを使用している。

問 市道菖蒲52号線と77号線の交差点は非常に危険な交差点である、こういう個所のカーブミラーは防曇タイプにすべきと考えるがどうか。

答 このカーブミラーについては鏡面の破損等がないので交換はしていない。しかし当該交差点は見通しが悪いので路面表示など安全対策を実施、また信号機の設置要望を久喜警察署を通して行っている。

問 他市町との境界付近での防犯灯、道路反射鏡の設置についてどのような方針か伺う。

答 現場を確認の上、基準に照らして検討する。また関係自治体と情報交換をやっていく。

問 デマンド交通の運行は評価が上がっているが、菖蒲地域の利用者は久喜総合病院まで利用できないかとの声が高い、検討できないか。

答 4月1日から80歳以上の方は300円から半額の150円になる。市民の利便性の向上を図っていく。久喜総合病院までとの件だが、路線バス、タクシーの既存の事業者さんもあり公共交通の補完をするデマンド交通と位置づけている。

問 東京理科大学周辺の環境整備について特に市道久喜2541号線の冠水に対する整備をすべきと考えるがどうか。

答 早急な対応は難しいが、現地調査を行いながら良好な道路環境の確保に努力する。



冠水対策の整備が必要な理科大南側道路

## 被災地からの避難者支援は継続を求める


### 【答】一時的な支援であり継続は考えていない

杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団



問 東日本大震災と福島原発事故により被災し、避難者は全国で18万人。埼玉県に5,102人。久喜市内には106人もの方々が避難生活を余儀なくされている。久喜市が避難者に寄り添って支援の継続をするよう求める。これまでの支援策で終了した事業や、今後終了する事業はどんなものか。

答 介護保険の保険料や、サービスの利用負担金の減免を平成24年9月まで実施した。また、施設利用者の食費や居住費の減免は、24年の2月まで実施した。同時に、国保の医療費・保険料の減免は27年度末まで実施。上下水道料金は免除し  
  
あの日を忘れてはならない(奇跡の一本松)  
てきた。(国保と上下水道に関しては28年度も延長の予定)

問 支援策の継続に必要な額はどれほどか。ま

た、被災避難民の「収入や就業状況、健康状態」について情報はつかんでいるか。

答 情報収集はしていない。(各支援の合計で480万円の答弁)

問 被災者の情報をしっかりつかむべきだ。久喜市民になってくれる人たちだ。金額の多寡ではなく、必要な支援は継続をすべきである。

答 一時的な支援で市独自に継続はしない。

問 介護保険制度の軽度者へのサービス継続を。

答 地域支援事業の中でサービスを考えていく。

問 国がサービス対象から外そうとしている生活援助（洗濯、調理、清掃、買い物など）の利用実態はどれくらいか。

答 要介護1、2で生活援助サービスのみは397件、身体介助と併用だと166件ある。

問 金額ではどれくらいか。

答 それぞれ784万円と423万円である。

【要望】国から今後、具体的な動きが出てくるが市独自に今の生活援助を続けるべきだ。



#### ※防曇ミラー

…冬は道路のカーブミラーが曇ったり、凍結して見えにくくなるため、これらを解消する曇らないカーブミラー（防曇ミラー）のことを言い少しづつ普及しています。



## 安心安全な出産のために無料歯科検診を

### 答 妊婦歯科検診については調査研究していく

矢崎 康 議員

公明党久喜市議団



問 歯周病にかかっていると、心疾患や糖尿病のリスクが高まるなど、全身の疾患との関係が明らかとなり、歯が早く抜けることで健康寿命にも影響する。

特に妊婦はホルモンバランスなどの変化で歯肉炎や虫歯、歯周病などになりやすく、特に重度の歯周病では、早産や低出生体重児<sup>\*</sup>出産の可能性が高くなることが報告され、歯科健診はとても重要。

春日部市では、母子手帳の交付時に歯科健診受診票を渡して、無料の妊婦歯科健診を実施している。

また、歯周病の早期発見、早期治療を図ることは、安心、安全な出産につながる。妊婦の無料歯科健診の実施を検討してはいかがか。

答 妊娠期における歯や口腔の健康づくりへの取り組みは、健やかな妊娠、出産を通じた次世代の育成のためにも重要なことである。

本市の取り組みとしては、現在、ママ・パパ教

室の中で妊娠中の歯のケアについて、歯科衛生士によるブラッシングを初めとする口腔衛生の指導を行っている。

ママ・パパ教室に参加されていない方もおられることから、今後については、広報及びホームページへの関連記事への掲載や啓発チラシの配布などを行い、妊娠中の歯の健康の重要性などについて啓発を行ってまいりたい。妊婦の歯科健診については、調査研究をしていく。

その他の質問 ◇働く世代のがん検診受診率の向上を求める。◇創業支援を促進し経済の活性化をすべき。



## 「広報くき」刷新すべき

### 答 費用対効果を勘案しながら検討する

園部 茂雄 議員

新政久喜



問 2000年地方分権一括法が施行され、それまでの地方自治は横並びの政策で、広報紙もお知らせ型が主流でしたが、地方自治新時代になり、住民と行政の協働、パートナーシップと言われてから自治体の広報に変化が求められてきた。

多岐にわたる住民ニーズに応えるために、お知らせ型の広報から地域間競争を意識し、市外を意識し、ターゲットを絞り込んだ戦略的な広報に変化をしている。

現在多くの自治体がシティセールスやシティプロモーションに取り組み、広報紙の刷新をしている自治体が多く、表紙のカラー刷りや特集記事、魅力ある紙面にすることで、より開かれた市政を実現している。

県内63市町で表紙カラー化は42市町、発行回数月2回は6市のみ、広報紙を刷新して日本一となった三芳町や県内一の羽生市のようにコンクール表彰され注目されている。

久喜市も合併後7年目となり、2年前にシティ

プロモーション課がスタートし、市民が毎号楽しみに手に取る様な「広報くき」に発展的刷新すべきと考える。

答 広報紙は、市政に関する様々な情報等をわかりやすく伝えることによって、市民と行政が情報の共有を図り、協働のまちづくりを推進するための効果的な情報発信の手段であると考えている。

今後、調査方法を精査して市民アンケート調査を実施する。掲載内容やレイアウト変更等に合わせて、表紙のカラー化についても費用対効果を勘案しながら検討していく。



内閣総理大臣賞受賞及び埼玉県特選受賞

その他の質問 ◇救命医確保等の補助事業について◇中心市街地活性化について◇リブレオイスの試験運用の総括について

※低出生体重児 …出生体重が2500グラム未満の赤ちゃんのことを言います。



# 児童虐待の通報数はどのくらいあるのか

## 【答】H26年度36件、H27年度途中で19件の通報

成田 ルミ子 議員

新政久喜



問 通報後、久喜市が行う児童への対応は。

答 通報日を基本に児童の安否の確認を行っている。実態を把握し、児童相談所を通し場合によっては一時保護（H26/2件、H27/2件）を行う。

問 子育て支援施設や健診に訪れない児童への対応はどのようにしているのか。

答 住基上、どの所管でも確認できない児童を病院の受診歴等で追跡調査したところ122人確認。確認後未だ所在が分からない児童がまだ数十名いる。現在も追跡調査を継続している。

【要望】市の現在の情報を民生児童委員協議会等に詳しく伝え、更なる協力を得ることが重要。

### 久喜市の子育て支援施策の現状について

問 子育て環境日本一を目指す厚木市が行っている、子育てコンシェルジュ事業がある。久喜市において子育て支援施策の情報発信方法は。

答 子育て支援ガイドブックを配布。HP刷新後、電子書籍化もしている。職員の研修を改めて取り入れ、共通認識をはかり利用者にサービスを

つないでいく。

【要望】子育て支援の充実は評価できる事が増えつつある。新規事業の、どのような子育て練習法トレーナー養成については、児童虐待防止にもつながる事業と期待する。しかし残念なのは子育て支援課が入りにくい場所にあることだ。元食堂なので間口が狭い。構造上の問題だが相談に訪れやすいスペースへの改良を希望する。



官民協働で作った久喜市子育てガイドブック

### 久喜市道路里親制度の里親登録数と年月は。

答 25団体が活動している。10年以上経過している団体は5団体。5年以上10年未満の団体が8団体。5年未満の団体が11団体である。

問 制度を作った後団体に任せきりではないか。

答 団体の意見を反映する機会は設けているが長く活動する団体には感謝を表す機会を作る。

# 他自治体と差別化し、優秀な人材確保を

## 【答】採用試験受験者数が増えるよう努力する

新井 兼 議員

新政久喜



問 自治体を取り巻く社会情勢が急激に変化し、優秀な職員の確保、政策形成能力の向上、新たな政策提言の実現等の職員の資質向上は大きな課題である。①他自治体と差別化した優秀な人材の確保として、市独自の職員採用説明会等の開催を提案したい。②職員自ら先進自治体を視察し、政策に反映できる体制の支援をすべきと考えるが見解は。

答 ①受験者数を増やす有効な手段として実施を検討したい。②公務としての視察は、今年度に限っても34件あり、職員が視察を通じて柔軟な発想力を磨き上げるために引き続き支援する。

問 若手職員や女性職員からなる新しい形のプロジェクトチームによる政策提案を推進すべき。

答 平成24年度から政策形成能力向上研修として、講義受講や毎月1、2回程度の政策形成グループ演習を行い、政策発表会を実施。今後も同研修を充実させ、政策提案の推進を図る。

### 県と連携した総合的な治水対策をすべき

### 【答】連携・協議を進め、治水対策に取り組む

問 ゲリラ豪雨等による市内の浸水被害対策は、河川・下水道の一体的整備が重要である。①検討の場として埼玉県と市が連携した河川・下水道事業調整協議会の創設が第一歩と考えるが見解は。②国土交通省が取り組む総合的な治水対策「100mm/h安心プラン<sup>※</sup>」を本市においても積極的に登録・活用すべきと考えるが見解は。

答 ①埼玉県は14市と協議会を設置して浸水対策に取り組んでおり、本市も県との協議会の設置を関係各課と調整していく。②100mm/h安心プランは、治水対策推進の有効方法の一つとして、先進自治体の状況や事例等を調査研究していく。



埼玉県と連携した総合治水対策を

【その他の質問】◇無償提供による広告付AEDボックス等を活用した24時間コンビニ設置検討を。

※100mm/h 安心プラン ... 「ゲリラ豪雨」に対し、住民が安心して暮らせるよう、関係分野の行政機関が役割分担し、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、浸水被害の軽減を図るために実施する計画のことです。





# 人口構造激変に備える「行政改革」を

## 答 事業見直し、経費削減、自主財源確保を行う

貴志 信智 議員

新政久喜



問 2025年の総人口と老年人口の推計は。

答 2025年時点の総人口は14万6051人（参考：H27年15万4396人）65歳以上の老年人口は4万6553人（参考：H27年4万0096人）と推計する。

問 行政改革大綱に示している財政指標目標値が達成出来ていない。目標必達に向けた取り組みと、財源確保を進めるべき。

答 財政指標の達成と健全な財政運営に努める。

問 債権管理の具体的目標値を定め、ノウハウを全庁で共有するべき。

答 重点債権に関して目標値を定め、達成状況の検証を行う。

### 路上喫煙禁止区域を拡大し、受動喫煙の防止を（鷲宮・栗橋）

答 路上喫煙の注意喚起と分煙の推進を行う。

問 厚生労働省は「子どもが利用する公共空間での受動喫煙防止が必要」としている。栗橋駅西口などは、路上喫煙のたまり場の横を小学生が通学する光景がある。早急な対策を。

答 総合的な観点から検討していく。

問 久喜駅西口のバス待合所の行列が、広場の混雑をきたしている。改善を。

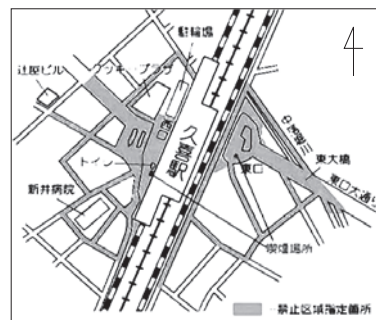
答 バス事業者とも協議のうえ、路面表示の整備等、改善を行う。

問 久喜駅東口線路沿いの道路において、車の速度超過、ギリギリのすれ違いが目立ち、大変危険である。対策を。

答 注意喚起、路面表示等、安全対策を進める。

問 公共施設予約におけるインターネットの活用拡大を。（ふれあいセンターの利用予約・学校開放事業の利用状況確認を可能に）

答 インターネットからの予約・確認を可能にする。



路上喫煙禁止区域  
栗橋・鷲宮にも設定が必要

# 手話言語条例の制定を 新年度中に進めるよう求める

猪股 和雄 議員

市民の政治を進める会



問 手話言語条例の制定が広がっている。聴覚障害者、特にろう者の言語である手話の意義を認め、手話によって意思疎通を行う権利を認め、手話を使いやすい環境を作っていくために、久喜市で手話言語条例を制定するよう求める。

答 （市長）28年度に制定できるよう進めていきたい。

問 条例策定にあたっては、聴覚障害者団体や手話サークルと協議して検討機関を設置したり、シンポジウムなどを通じて手話言語条例の意義を広げながら進めていただきたい。

答 （市長）市民の認識を広げてもらうためにも、先進自治体の例を十分に参考にして進めていく。

### あおぼっ子学童クラブ\*の施設整備を急げ。

問 市内の学童保育施設の整備が進んできた。青葉小学校のあおぼっ子学童クラブは地域交流センターを使っているが老朽化しており、学校内への施設の実現が課題となってきた。新年度予算に計上されなかったのはなぜか。新年度中に新施設を

建設し開設をめざすべきである。

答 施設整備計画に優先的に整備が必要な施設として位置づけて進めていきたい。青葉小学校内の郷土資料棟の一室を活用できるよう調整している。できるだけ早く進めたい。

【要望】新年度中に建設できるように求める。

【その他の質問】◇個人番号制度の問題点。申請書類等に個人番号の記入がなくても受け付けることを明確にすべき。◇参院選でモラー・ジュ・葛蒲と久喜駅西口クッキープラザに期日前投票所を開設について。◇「久喜市子ども子育て支援事業計画」に子どもの貧困対策の視点が弱いと思われる。対策指標を検討して支援事業計画を保管すべきである。◇久喜市のふるさと納税寄付金が近隣市町に比べてきわめて低調であるが、原因などをどうとらえているか。



あおぼっ子学童クラブ、老朽化が著しい



### ※学童クラブ

…放課後、保護者が仕事などにより家庭にいない小1～小6までの児童を対象に、校内または近隣の施設で、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図ります。

久喜市で使う貸切バスはセーフティバス<sup>※</sup>を

## 〔答〕バス事業者を選定する上でその利用を進める

川辺 美信 議員

市民の政治を進める会



問 軽井沢碓氷バイパスでのスキーツアーバス事故は、おびただしい法令違反による安全軽視が引き起こした事故である。安全性の観点から、修学旅行や学校行事、市の行事等で使う貸切バスは、安全性評価認定制度（セーフティバス）を受けた事業者を使用すべきでは。

答 安全性評価認定制度は、安全性に対する取り組み状況が優れている事業者を評価するもので、バス事業者を選定する上で一つの目安となる制度であり、その利用を進めていく。



安全の目安となるセーフティバスのマーク

市町村民税非課税世帯の生徒に対して、高校入試受験料一回分を補助すべきではないか。

〔答〕公立高校受験料は2200円で、高額ではないことから補助する考えはない。

問 市町村民税非課税世帯の生徒が高校に入学す

る際に、受けられる援助にはどのようなものがあるか。

答 埼玉県では、高等学校等就学支援金並びに国公立高等学校奨学のための給付金、父母負担軽減事業補助並びに私立高等学校等奨学のための給付金がある。

問 高等学校等就学のための給付金は年額3万7400円であり、これだけで足りると考えるか。

答 これだけで十分ではないと考える。

問 市町村民税非課税世帯の生徒が利用する、久喜市の入学準備金、奨学金の全額もしくは一部を給付型にすべきではないか。

答 給付型の奨学金については、県内の状況を調査し、財源の在り方も含めて研究する。

問 日本学生支援機構が行っている、第2種奨学金（有利子）の返済にあたり、順調に返済している場合は利子分の補助をすべきでは。

答 子どもの貧困対策の充実・改善が進んでいるところから、利子分の補助を行う考えはない。

## 育児方法の違い解消に祖父母手帳の発行を

## 〔答〕他市の先進事例を参考に事業に活用したい

大谷 和子 議員

新政久喜



問 祖父母手帳は、抱き癖、母乳、食事の与え方など、子育て世代との行き違いが起こりがちなテーマを発育別に取り上げ、今と昔の育児方法の違い、孫やその親と良好な関係を築くポイントを紹介。世代相互の気持ちを理解する上で役立つ。祖父母と親が直面する子育て今昔、もやもや解消のきっかけに、変化した子育ての最新の常識や、親世代との上手なつき合い方を提案する祖父母手帳の発行ができないか。

答 近年夫婦共働き世帯は増加しており、親世代にとって祖父母の協力を得られる状況は何より心強いものと認識している。親世代と祖父母世代の間には育児知識や価値観等を含めた育児に関する思いが異なるなど、子育て、孫育てに対して互いに不安や不満を抱えているとの声も聞いて



「さいたま市の祖父母手帳」

いる。平成28年1月にさいたま市で祖父母手帳を発行しており、世代間で変化した最新の育児に関する常識や世代間の認識の違いを補う上手なつき合い方の提案が盛り込まれている。本市としても、先進事例を調査研究し、他市の事例を参考に今後の事業に活用したい。

子育て拠点のコンシェルジュ事業の導入を。

〔答〕実態としては、そういうことができる形で職員が対応していく。

問 地域において子育てボランティア活動を行う市民が、身近な子育て支援の橋渡しを行う地域子育てコンシェルジュ、子育てに関する施策の情報提供及び子育てサービスを常時提供する職員による子育て拠点のコンシェルジュ、など子育てコンシェルジュ事業を導入できないか。

答 子育て支援センター15カ所の職員が研修をして、相談力高めることで対応。ボランティアで子育てコンシェルジュは次のステップとして考えていきたい。



## ※セーフティバス

…安全性や安全の確保に向けた取り組み状況について、セーフティバスの認定、公表することにより、利用者にとって安全性の高い貸切バス事業者を選好しやすくなります。



# くき市議会だよりを視察!!

## と さくら市議会広報委員会が来訪



平成28年1月15日、栃木県さくら市議会の広報委員会の皆さん（委員長、副委員長、委員7名、事務局2名の計11名）が、久喜市議会の広報委員会の視察に来訪しました。

視察研修では、制作したばかりの久喜市PRビデオ1000人一発撮りを鑑賞したのち、春山委員長より「くき市議会だより」の発行スケジュールや原稿の提出方法、平成26年度の委員会改選時の大幅リニューアル等の説明。その後、さくら市議会広報委員会の皆様から多くの質疑がありました。



さくら市議会広報委員会委員のみなさんよりたくさんの質問がありました



くき市議会だよりについて説明する広報委員会委員長

写真・イラストの活用、予算・決算の紙面、豆知識等について多数の質疑がなされ、特に、表紙題字を地元の高等学校に依頼していること、久喜市議会の広報委員が積極的に地域に出掛け取材を行っていることに対し、大変興味を抱いている様子でした。

### 視察を受け入れて

今回は久喜市議会の広報委員会として初めての視察受入で、委員も大変触発されるものでした。今後ますます市民の皆さんに読みやすく親しみやすい議会だよりになるよう取り組んでいきます。

## 市民にわかりやすい議会広報へ



平成28年1月21日、「議会広報のあり方」について、社団法人埼玉県コミュニケーションセンター理事長の芳野政明<sup>よしの まさあき</sup>氏を講師にお招きし、議員全体研修を行いました。

議会広報は「最大の市民サービスの一つである」との考えを基に、広報の視認性、発行のスピード、親しみやすさの工夫、広報作成テクニック等を学びました。



芳野先生（左から5番目）を囲む議会広報委員会委員

議会閉会中も活動しています

# より良いまちづくりのために

調査・研究

常任委員会は議案の審査だけではなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。開催した順に活動内容を紹介します。

## 行政視察

### 知的障がい者の自立を支援

福祉健康常任委員会  
1月14日

知的障がいのある方が働く職場「(株)シンフォニア東武」を視察しました。指導者であるチーフの皆さんは、働く人が迷わない、困らせない、不安にさせないよう、指導しており、指導方法は素晴らしいの一言でした。



朝礼の様子。その日に心がけることをみんなで確認していました。



2人一組で、てきぱきとベッドメイキングを行っていました。

### タブレット導入に向け 篠山市を視察

議会運営委員会  
1月28日 兵庫県篠山市

篠山市議会のタブレット端末導入までの経緯、経費、使用範囲の説明を担当者より受けました。また、効果として情報共有のスピード、議員活動の充実、ペーパーレス化の推進を挙げていました。課題として議員間のICTスキルの格差の解消や、執行部との調整を挙げていました。

### 平成9年から議会改革 宝塚市議会

議会運営委員会  
1月29日 兵庫県宝塚市

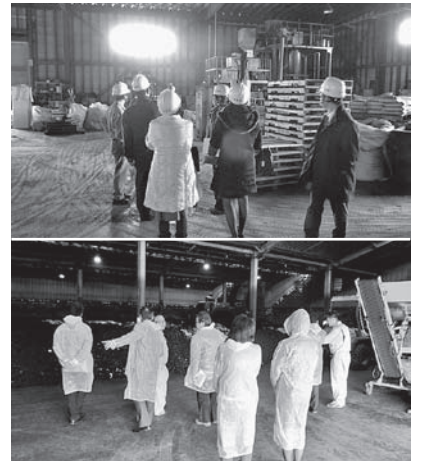
宝塚市議会の議会改革は、平成9年6月定例会の「委員会の傍聴を原則公開とする」ことから始まりました。平成26年7月の意見交換会の実施まで、35の事項について改革を行っていました。



議会改革の説明を受ける委員

### 久喜市のごみの行き着く先を確認

教育環境常任委員会  
2月4日



HDM処理の様子(上)、有機性廃棄物と動物性産業廃棄物から有機肥料製造の様子(下)

久喜宮代衛生組合のごみを最終処分している「埼玉県環境整備センター」とリサイクル事業をしている「ツネイシカムテックス埼玉(株)」と「よりいコンポスト(株)」を視察しました。また、久喜宮代衛生組合と同じ高度減容処理微生物工学システム(HDMシステム)を採用している「(株)熊谷清掃社」も視察しました。

埼玉県環境整備センターで最終的にごみを埋め立てることになりますが、なるべく最終廃棄物を出さないように、様々なリサイクル事業の大切さを実感しました。



## 柏市の優良田園住宅制度を調査 ～市街化調整区域の既存集落 の衰退を食い止める～

建設上下水道常任委員会  
2月8日

優良田園住宅建設を推進する地区は、市街化調整区域内の指定する3地区で、既存集落タイプまたは新規集落タイプの立地条件を満たす地区としています。開発業者から新規集落タイプの建設相談はありますが、市や県との協議に時間がかかるなど現実には至っていないとのことでした。

市街化調整区域の既存集落の衰退を食い止める施策として、飯能市の事例を参考にしながら、優良田園住宅事業を進めていくとのことでした。



優良田園住宅制度の説明を受ける委員

## 所管事務調査

### 市内の圏央道側道と 他市町との接続状況を調査

圏央道対策特別委員会  
12月18日

市内の圏央道の側道整備における他市町との接続状況を現地に赴き、執行部より工事概要の説明を受け、質疑を行

いました。圏央道の側道整備は、橋梁等の問題があり、近隣市への道路の開通はかなりの時間と経費を要することを確認しました。なお、北側の側道は、地域幹線道路と位置づけられており、早急に整備が必要との意見がありました。



幸手市境の葛西用水路の橋梁部



東武伊勢崎線との立体部



白岡市境の見沼代用水路の橋梁部

### 平成27年度開設の特別 養護老人ホームを調査

福祉健康常任委員会  
1月14日

栗橋地区の「ローレル高柳」と鷺宮地区の「喜びの里鷺宮」の施設を視察しまし

た。ともに入所定員100名、完全個室、ユニットケア型の施設です。両施設とも、利用者が安心して暮らせるよう細かいところまで配慮の行き届いた施設でした。



利用者に好評な「喜びの里鷺宮」の入浴機器

### 平成27年度策定の久喜市 農業農村基本計画の 説明を受ける

教育環境常任委員会  
3月14日

久喜市農業基本条例に規定された基本的な施策を総合的かつ計画的に推進するために策定された「久喜市農業農村基本計画」について担当課長より説明を受け、委員からは計画の中で具体的な数値目標をたてて実行できるものは行っていくべきとの意見がありました。

また、所管の審議会等の開催状況について説明を受け、委員からホームページ上の開催予定のお知らせはなるべく早く掲載してほしいとの要望がありました。



# 表紙の題字は

埼玉県立栗橋北彩高等学校書道部の皆さんに書いていただきました。  
今回は、新井野々花さんの「くき」を採用させていただきました。



埼玉県立栗橋北彩高等学校書道部の皆さん

## 作成者の感想

「くき」という文字を書くとき、どのようにすれば久喜市の雰囲気にかぶるのか悩みました。筆や線の太さを工夫して何枚も書き、納得のいく1枚を書くことができました。一生懸命書いたもので、たくさんの人に見ただけなら嬉しいです。このような貴重な経験を今後活かして、さらに良い作品を書くことができるように頑張っていきたいと思います。

埼玉県立栗橋北彩高等学校書道部 3年生 新井野々花

## 第1回 よろこびのまち 久喜マラソン大会開催



表紙の写真は、3月13日に開催された第1回よろこびのまち久喜マラソン大会です。

3,965名のランナーが、市内を駆け抜けました。

最強の市民ランナー川内優輝さんは、「コスプレランナーが多いからサラリーマンに変身」とスーツ姿で登場。沿道では太鼓や声援でランナーを応援。

地域市民とオタクの交流イベント「萌☆輪びっく」など会場では多くのイベントを開催。

地域ぐるみで盛り上がった大会となりました。



## 議会を傍聴してみませんか

市議会は皆さまが自由に傍聴できますのでぜひお越しください。

### ○2月定例会傍聴者数

本会議…77人、委員会…2人

### ○次回定例会は、

6月6日(月)から

7月1日(金)までの予定です。

久喜市議会事務局 TEL0480-22-1111

## 市議会をインターネットで!

市議会の本会議をインターネット中継します。

また、録画もご覧いただけます。

(なお、スマートフォンからは中継録画のみとなります。)

久喜市議会のホームページからリンクしています。

<http://www.city.kuki.lg.jp/shigikai/index.html>



## 編集後記

「手に取って、読んでいただき、久喜市議会を身近に感じていただく」を目標に広報委員一丸となり『くき市議会だより』を刷新してきました。いかがでしょうか、目標に少しは近づいたでしょうか?平成26年の改選後からこのメンバーで編集をしましたが、次号からは新メンバーとなります。今後も市民の皆様から愛される『くき市議会だより』を作成してまいりますのでご理解ご協力をよろしくお願いいたします。(春山)

## 広報委員会委員



◎春山 千明 ○平沢健一郎  
平間 益美 新井 兼  
川辺 美信 丹野 郁夫  
大谷 和子 田中 勝  
井上 忠昭 富澤 孝至  
(◎委員長 ○副委員長)